

茨城県国際理解教育推進協議会  
会長 石川 哲夫 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 常陸太田市立太田小学校 担当教諭名 塙 瑞穂

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成 21年 12月 15日 ( 火 ) 9:40 ~ 13:00
対象学年と人数	第3学年 86名
派遣講師名と出身国	パク・キョン・ウン (韓国) 吉谷 アンナ (インドネシア) ジェフリー・パーク (アメリカ)
活動の内容	1 開会セレモニー 2 グループ学習タイム (各コーナーの講師の先生の話聞き、学習する。) 3 ふれあいタイム ・〇×クイズ ・ジャンケンゲーム 4 閉会セレモニー 5 ふれあいランチタイム
生徒・保護者等参加者の感想	・インドネシアは、小さな島なのに4番目に人口が多い国と聞いておどろきました。また、地震が多いことが分かり、大変だと思いました。 ・韓国と日本は、少し似ているところがありました。でも、おはしが金属だったりキムチ祭りがあったりすることにおどろきました。 ・アメリカでは、8月になると毎日40度くらいになると聞いてびっくりしました。今度は、私たちが日本のことを教えてあげたいです。
先生の感想	普段、外国の方と接する機会がほとんどない児童にとって、実際にお話を聞いたり、触れ合ったり、一緒に食事をしたりできたことは、素晴らしい体験となりました。 各国コーナーでの学習タイムでは、講師の先生が写真や実物などを提示しながら、3学年の児童にわかりやすく、自然・なじみのある動植物・食べ物・遊び・学校の様子などについて詳しくお話してくださいました。児童の反応を大切にしながら、楽しい雰囲気を進めていただけなので、あっという間に時間がたち、20分たってももっとお話を聞きたそうに次のコーナーに移動する児童の姿が印象的でした。また、見る物、聞くこと、全てが初めてで、驚きの声をあげながら必死にメモをとっている児童もたくさんおり、この後計画している外国についての調べ学習へ意欲が高まったのを確信しました。 ふれあいタイムでは、先生方も積極的に児童と触れ合ってください、児童は先生方にますます親近感を持ってました。 今回のワールドキャラバンは、新しい知識はもちろん、それぞれの国の風習等のお話を通して、日常生活でおろそかになりがちな両親や目上の人に対する尊敬の気持ち、友人・家族への愛情や助け合う心、物を大切にする気持ちなどを、あらためて児童に気付かせてくださいました。この経験を生かして、今後の児童の学習・生活に生かしていきたいと思えます。

